

・・・ 新刊本紹介 ・・・

本の名前	書いた人	出版者
時に海を見よ	渡辺憲司	双葉社
山陰の神々 古社を訪ねて	川島芙美子	今井出版
竹島=独島問題入門 日本外務省『竹島』批判	内藤正中	新幹社
二代将軍・徳川秀忠	河合敦	幻冬舎
論戦 2011 国難に克つ	桜井よしこ	ダイヤモンド社
私は、いかにして「日本信徒」となったか	呉善花	ワック
田舎の家のたたみ方	コンタロウ	メディアファクトリー
世界が感嘆する日本人	別冊宝島編集部	宝島社
地図で読む東日本大震災	成美堂出版編集部	成美堂出版
軽い認知症の方にもすぐ役立つなぞなぞクイズ・回想法ゲーム	今井弘雄	黎明書房
水木しげるの妖怪地図 47都道府県ご当地妖怪を訪ねる	荒俣宏	平凡社
「次」にひかえるM9超巨大地震		ニュートンプレス
熱中症対策マニュアル	稲葉裕	エクスタレッジ
「昨日の疲れ」が抜けなくなったら読む本	西多昌規	大和書房
脱電生活 電気を使わず楽しく暮らす	佐光紀子	毎日新聞社
FBI美術捜査官	ロバート・K. ウィットマン	柏書房
人物デッサンの基本	鯉登潤	ナツメ社
四季のカルトナージュ	佐藤由美子	日本ヴォーグ社
きょう一日。 非常時を生き抜く究極の五木メソッド55	五木寛之	徳間書店
家郷のガラス絵 出雲の子ども時代	長谷川摂子	未来社
そこへ行くな	井上荒野	集英社
母のはなし	よしもとばなな	集英社
明日のマーチ	石田衣良	新潮社
愛ある追跡	藤田宜永	文芸春秋
血は欲の色	澤田ふじ子	幻冬舎
誰にも書ける一冊の本	萩原浩	光文社
ダンスホール	佐藤正午	光文社
翼	白石一文	光文社
ピエタ	大島真寿美	ポプラ社
湯女の櫛 備前風呂屋怪談	岩井志麻子	角川書店
黄泉坂案内人	仁木英之	角川書店
八月からの手紙	堂場瞬一	講談社
棟居刑事の代行人	森村誠一	中央公論新社
天上紅蓮	渡辺淳一	文芸春秋
竜馬走る 少年篇	山本一夫	角川春樹事務所
ベスト本格ミステリ 2011	本格ミステリ作家クラブ	講談社
東京難民	福沢徹三	光文社
刑事のまなざし	薬丸岳	講談社
我が家の問題	奥田英朗	集英社
はぐれ猿は熱帯雨林の夢を見るか	篠田節子	文芸春秋
パパは今日、運動会	山本幸久	筑摩書房
韃靼の馬	辻原登	日本経済新聞社
化合	今野敏	講談社
ジュージュウ	よしもとばなな	文芸春秋
レイジ	菅田哲也	文芸春秋
風を断つ	池永陽	講談社
蠅の帝国 軍医たちの黙示録	常木蓬生	新潮社
ポニーテール	重松清	新潮社
神変 役小角絵巻	山本兼一	中央公論新社
小説あります	門井慶喜	光文社
G F ガールズファイト	久保寺健彦	双葉社
ヒロシマ 1~3	那須正幹	ポプラ社

紹介しているのは7月に入った新刊の一部です。他にもいろいろ入っているのでチェックしてみてください。

読みたい本が貸出中のときは、予約をすると次に借りることができます。

隠岐の島町図書館通信

読まんかね

隠岐の島町図書館

2011. 8 Vol. 75

〒685-0014  
島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二 17-1  
tel : 08512-2-2341 fax : 08512-2-9198  
http://www.town.okinoshima.shimane.jp/toshoan/  
e-mail : s-tosho@mx.miracle.ne.jp



・・・ フルート・ピアノ ミニエンソウかい・・・  
～音の世界のなかで～

フルートとピアノの演奏のほか、おたのしみがたくさん！みんな来てね。

演奏：佐藤里奈さん・勝部奈緒さん  
対象：幼児、児童、保護者



日時：8月27日(土) 10:00~11:15  
場所：隠岐の島町図書館 研修室



・・・ DVD上映会・・・

図書館でDVDの上映会を行います。一人で観るのもいいけど、みんなで一緒に大きな画面で観るのも楽しいですよ。入場は無料です。お気軽にお越しください。

場所は図書館研修室です

日時：8月14日(日)

2時~2時半

「さかなたちのふしぎ」(子ども向)

海の中の生きものたちのひみつを見てみよう！

3時~4時半

「北極のナヌー」(大人向)

氷が溶われつつある北極を舞台に、小さな白くまのナヌーが懸命に生き抜いていくドキュメンタリーです

場所：図書館研修室



・・・夏休みの宿題は・・・

夏休みを楽しく過ごしていますか？  
いっぱい遊んだ後は宿題も忘れずに。図書館には読書感想文の本はもちろん、自由研究や工作など、何をするか、どうするかヒントや助けになる本がたくさんあります。困ったら本の力を借りてのりきってね！

図書館で勉強をするときは、研修室が使えます。カウンターで申込みをしてください。（イベントなどで使えない日もあります）

・・・かげ絵ワールドin図書館・・・

7月30日・31日にかげ絵ワールドin図書館があり、東出雲町（8/1に松江市に合併）のかげ絵劇グループ「シルエット2006」のみなさんに上演していただきました。  
「ぞうさん」「うさぎとかめ」などの童謡に合わせた影絵のほか、劇「プレーメンのおんがくたい」「こびとのくつや」、影絵あて遊び、舞台裏見学など、盛り沢山の内容で、2日間で約200名の方が楽しみました。



みんなで影絵に挑戦！

たなばた会の報告

7月にたなばた会をおこないました。55名の参加があり、絵本やブラック紙芝居の読み聞かせや工作をしました。みんな一生懸命七夕飾りと短冊を作り、それぞれ笹につけて持って帰りました。みんなの願いごとが叶いますように・・・



できた！



開館日カレンダー

色の日は休館日

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	

定例行事  
○はじめてのえほん  
火曜日 10:30～  
○おはなしのへや  
土曜日 15:00～  
○ブックトークの会  
8月6日(土)14:00～  
9月3日(土)14:00～

9月18日は  
第3日曜ですが  
臨時開館します

開館時間を試験的に  
変更しています。  
10:00～18:30  
(8月・9月のみ)

・・・展示コーナー & 特集コーナー・・・

★展示コーナー

《日野申子&教室生徒デコパージュ作品展》

日野申子さんとその教室の生徒さんが作られたデコパージュ作品を展示しています。すてきな作品が多数ありますので、ぜひご覧ください。

期間 7月1日(金)～8月31日(水)  
場所 図書館展示コーナー



★特集コーナー

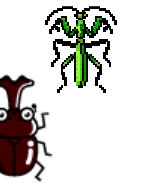
《つくってみよう!》

夏に作ってみたい工作や、ビーズなどの手芸、夏料理の本などを特集です。

★えほんコーナー

《ムシ・むし・虫》

夏は外に出ると虫がたくさんいるね。好きな虫はいる？絵本の中にもかっこいいやかわったの、いろんな虫がでてくるよ。



・・・7月の利用状況報告・・・

	入館者数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
23年度	6,706	1,638	7,641	33
22年度	5,983	1,652	7,174	26
比較	723	▲14	467	7

・・・7月によく読まれた本 ベスト10・・・

- 1位 真夏方程式
- 2位 続・時をかける少女
- 2位 harumi 20
- 4位 母のはなし
- 4位 死ぬ気まんまん
- 4位 釈迦内極唄
- 4位 黄泉坂案内人
- 4位 すぐそのたからもの
- 4位 世界が感嘆する日本人
- 4位 君に届け 2

- 東野圭吾
- 石山透
- 栗原はるみ
- 群ようこ
- 佐野洋子
- 水上勉
- 仁木英之
- よしもとばなな
- 別冊宝島編集部
- 椎名軽穂

- 文芸春秋
- 復刊ドットコム
- 扶桑社
- 集英社
- 光文社
- 新日本出版社
- 角川書店
- 文化学園文化出版
- 宝島社
- 集英社

・・・今月のオススメの一冊・・・

『ある小さなスズメの記録』 クレア・キップス 著 梨木香歩 訳 / 文芸春秋



今月は住田が  
紹介します

先日、仕事が終わって車に乗り込むと、まだ赤ちゃんと思われる小鳥が助手席に乗っていた。暑いので少し窓を開けたままにしていたら、迷い込んでしまったようだ。親鳥を呼ぶように声高に鳴いていて、その後逃がしてあげたが、ちゃんと巣に戻れたのだろうか…と少しかわいそうな気持ちが残った。この本は、ケガをした生後間もない小鳥が著者の家の前に置き去りにされていたことから始まる。先のような一件があったので、私は人ごととは思えず読んだのだが、著者は、家の前で拾った小鳥を、私のように逃がすのではなく、丁寧に介抱して、まるで家族のように一緒に暮らしたのだ。この本は、小説ではなく、「記録」であり、「スズメの伝記」であり、著者の言葉で言えば「人間と鳥との間に培われた親密な友情の物語」である。読み進めていくうちに、どんどん驚くことが書かれている。特に、スズメが芸をする事、歌を歌う事。そして、まるで人の心を持っているかのように振る舞うということ…。また、晩年には病気がかかってしまい、著者が必死に看病するのだが、その様子は、こちらが手に汗を流してしまうようであった。鳥への見方が、今までとはガラッと変わってしまうような一冊だと思う。